

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-515749 (P2001-515749A)
 【公表日】平成 13 年 9 月 25 日 (2001.9.25)
 【出願番号】特願 2000-510383 (P2000-510383)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

A 6 1 F 2/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 17/56

A 6 1 F 2/44

A 6 1 F 2/46

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 5 日 (2005.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 腹腔鏡検査による脊椎手術において使用する腹腔鏡外科手術レトラクタ組立体であって、

近位端部及び遠位端部を有し、そこを抜ける細長い開口を形成した細長いスリーブ部材であって、前記遠位端部は、近接した対向脊椎の椎間板の隙間に少なくとも部分的に挿入させて隣接の脊椎を引き離し、前記遠位端部は第 1 及び第 2 支持面を有する 2 つの離間したリトラクタムを有し、各リトラクタムは対向して隣接する脊椎を挿入時に引き離すに十分なように第 1 及び第 2 支持面の間の容積を形成し、及び

前記スリーブ部材の細長い開口内に導入された手術器具をシールするために細長いスリーブ部材の遠位端部に取り付けられたバルブ組立体を有することを特徴とする腹腔鏡外科手術用レトラクタ組立体。